



杉谷ひろば

7月号
No. 29

杉谷さんとともにまちを創る会
2013年 7月 1日発行

向日市寺戸町辰巳4-1-101号
杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう!

ホームページ: <http://sugi.pupu.jp/>

参議院 選挙

真の最大争点は改憲問題だ



杉谷伸夫・58才
向日市議会議員・市民クラブ
上植野町イトピア在住

経済政策、TPP、原発政策、憲法改正が、参議院選挙の4大争点と言われています。特に、自民党が自画自賛する経済政策に対する国民の評価がどう出るかに注目が集まっています。

安倍首相は改憲問題での主張を抑え、経済政策を前面に出して選挙を戦う戦略ですが、実は参院選結果で改憲勢力が3分の2を占めるか否かが、今後の日本の姿を決める最大の課題であることは間違いありません。

自民党の改憲草案は、「個人の尊重」を基本とした憲法から、「国家の発展」を基本とする憲法へ、「人権を守るために国家を縛る憲法」から「国家が個人を統制する憲法」へ、180度転換しようとしています。まさに社会のあり方、個人と国の関係が変わるのです。参院選の結果が、その行く先を決めることとなります。

アベノミクスで株が上がった、下がったに目を奪われず、真の争点というべき改憲問題をしっかりと考えていきましょう。7月13日(土)杉谷ひろばに来てください!(右下囲み参照) 6月29日・杉谷伸夫

市民の皆さんの声

- 笹子トンネルの事故以来、市内の橋を渡る時や高架橋の下を通る時、つい大丈夫かなと見てしまいます。新しい道路を造るよりも、維持・点検・整備をしっかりしてほしいと思います。
- 桂川駅前のイオンモールの営業時間が夜12時までとのことですが、小中学生が深夜まで溜まる可能性が高く心配です。京都市内の大型店でも問題になっていますが、ここは住宅地域なのでなおさら。営業時間の短縮を検討してほしい。(住民説明会で出されていた声)
- JR向日町駅前のバス停前に腰掛けイスを設置してほしい。阪急東向日駅前にはあるのに。足が悪いのでバス待ちの時間がつらい。

7月の催し案内

■ 7月13日(土) 午前10時~12時

「憲法ってなあに？」

憲法改正ってどういうこと？」

~伊藤真さん語り下ろしDVD上映~

場所: 杉谷ひろば(向陽幼稚園より東向日駅方面へ約100メートル、道路向かい側)、参加費100円

★語り手 伊藤真(いとう・まこと)さん★

1958年東京生まれ。伊藤塾塾長・弁護士。95年「伊藤塾」を開設し、真の法律家の育成を目指す一方、「憲法の伝道師」として、執筆、講演、TV出演など多数。

★伊藤真さん「わが国を戦争ができる国にしてはいけません。子どもたちに、安全で平和な中で自分らしく生きることが出来る社会を残すことは、今を生きる私たちの責任です。」



連絡先

ご相談はまずお電話を! TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101
メール peace@fa2.so-net.ne.jp ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>

6月議会の報告

「被災者支援施策の実現を」 国への意見書などを採択

6月20日、向日市議会は補正予算他全議案を可決成立して閉会しました。市民クラブから2つの意見書案、共産党議員から1つの意見書案と決議案が提案され、本会議で8つの討論発言が行われましたが、そのうち市民クラブ（飛鳥井・杉谷）の討論発言が5つを占めました。

私は、子ども被災者支援施策の実現を求める意見書と、大飯原発の再審査を求める意見書に対し、賛成討論を行いました。

意見書 議会の意志を決定し、国や関係機関に提出しました。

- 子ども・被災者生活支援法に基づく具体的施策の早期実現を求める意見書（市民クラブ提案）
…全会一致で可決
- 新規制基準に基づく大飯原子力発電所3号機、4号機の再審査の実施を求める意見書（市民クラブ提案）
…13：6で可決（反対は共産党6）
- 憲法96条の改定に反対する意見書（共産党提案・市民クラブ賛同）
…10：9で可決（反対は新政クラブ6 公明党3）

シリーズ

「議会を変える！」⑦

市民に関わる問題は、 どんどん取り上げ議論を

6月議会の総務常任委員会審議が、私の質問をめぐって、しばし紛糾しました。

市民の方から、「（この3月末で閉園した）公立第3保育所の跡地に女性センターを設置してください」という「要望書」が議会に出されていました。第3保育所の跡地をどうするかについては、3月議会に続き6月議会でも市長が「売却も含めて検討」と発言していましたので、私も急を要する問題と判断しました。

決議 議会の意志として以下の決議を行い、対外的に発表しました。

- 橋下徹大阪市長・日本維新の会共同代表の「従軍慰安婦」に関する一連の発言に抗議する決議（共産党提案・市民クラブ賛同）
…13：6で可決（反対は新政クラブ6）

●第3保育所跡地を売却？ 一方的に決めないようクギ！

市民クラブの飛鳥井議員が一般質問で、この4月に閉園になった公立第3保育所（森本町藪路）の「跡地を女性センターに」と提案しました。また別に市民からも「跡地に女性センターを」との要望書が議会に出されました。ところが市長は、「（寺戸公民館の一角に間借りした）市民協働センターが女性センターの機能を果たしているから必要ない」としてこれらの提案を突っぱね、3月議会に続き「跡地は売却も含めて庁内で検討する」と表明しました。

公立第3保育所の跡地は、市内中心部にある貴重な市有地です。跡地利用は市民の声を反映して決めるべきです。私も委員会審議で市長の姿勢を質し、「市民や議会に相談せずに、一方的に売却方針を決めない」ことを確認しました。（杉谷）

男性共同参画キャラクター



「女性センター」など市民参画に関する事業は、私の所属する総務常任委員会の所管です。そこで、この件に関する市長の見解を質すべきであると考え、予定議案の審議がすべて終わったところで、「ちょっと、その他で質問があります」と言って市長に対して質問をしたところ、別の議員から「議案審議がすべて終わってから、議案にない『その他』の質問はできないはずだ」という趣旨の異議が出され、けんけんガクガクの議論となりました。結局、市長からは質問に答弁してもらいましたが（上記「第3保育所用地の売却問題」参照）。

市民生活に関わる大切な問題は、正式な議案かどうかに関わらず、その現状や市の考えについて説明を求め、市民に明らかにしていくことが必要です。だから議案外の「その他」事項は、とても重要なんです。これからも、自由で活発な議会論議をめざして頑張ります。（杉谷）

杉谷伸夫の議会論戦

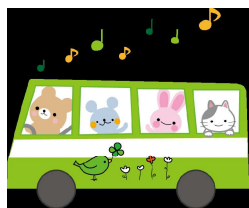
6月議会一般質問より

●北野台裁判の情報公開 ・・・答弁を拒否

私は、北野台の雨水流出事故の損害賠償請求裁判の資料公開を求めたことに対して、市は「閲覧のみ可、写しの交付は不可」としました。それに対して私は、不服審査請求をおこなうとともに、何故写しの交付ができないのか、市民に公開された議会の場で説明することを求めました。ところが、市長は「審査会で審議されるから」として、説明を拒みました。審査会でしっかり審議いただくためにも、市長は市民の前で正々堂々と主張を述べればいいのです。

なお、本件情報公開審査会は7月12日に開かれ、私も意見陳述を行う予定です。

●市内巡回バス ・・・走らせる気無し



巡回バスについては、これまで多くの議員が、「今後の行程表を示せ」「必ず実現の約束を」など、様々な質問を行ってきましたが、市長は何を問われても、「交通利便性をさらに向上させる上で最もふさわしい交通支援策を講じていく」と同じ答弁をくりかえすばかりでした。

ところが、その交通支援策の検討委員会は、巡回バス運行の財政面や需要などの具体的な検討は何も行わないまま、「巡回バスは中期的課題」に先延ばししてしまいました。問題は、トップである市長の意志です。

そこで残り2年を切った市長の任期の中で、市内巡回バスの市民要求について、どうするつもりか市長の決意を求めたところ、「決意でバスは走るわけではない」とのおふざけ答弁。検討委員会の報告書を受けて今後どう取り組むか？の質問には、担当部局が「本市に最もふさわしい公共交通支援策を講じる」と2年前と同じ答弁です。結局この2年間で920万円は無駄に費やしたということです。市民と議会を馬鹿にしています。

●いじめ、不登校問題 ・・・基本認識が全く違う

向日市では、子どもや保護者・教員への様々な相談事業によって、ここ数年不登校の児童生徒数が減少してきています。しかし、中学校では約30人に1人が不登校という状況です。



その根本的な原因として、国連子どもの権利委員会は、「高度に競争的な学校環境が、いじめ・不登校その他を助長している」と指摘し続けています。そして、いじめや不登校に直面している子どもたちを救済し、子どもたちの最善の利益を守るために、オンブズパーソン等の第三者機関の設置を日本政府に勧告しています。

こうした国連機関による指摘と勧告について、教育長の見解を問いました。

ところが教育長の答弁は、「本市の子どもたちが過度な競争的環境になっているとは考えておりません」との見解。国連機関の指摘を否定するのですから、話がかみ合いません。だから「オンブズパーソン等の子どもの利益を守るための第三者機関の設置」の勧告に対しても、一切見解は示されませんでした。こんなことで良いはずがありません。

●脱原発 ・・・PPSと太陽光発電の活用を



向日市は、私の提案を受けて、昨秋より市役所本庁舎の電力を一般競争入札を行い、原発依存の関電以外の一般電気事業者(PPS)から購入しています。一般競争入札による電力購入を、今後市庁舎以外にも拡大することを求めたところ、施設ごとに導入の是非について検討してゆくとの答弁でした。

また自然エネルギーへの転換を進めるため、太陽光発電の導入を積極的に進めること、今後公共施設の新築、改築等を行う際には、太陽光パネルの設置を検討することを求めました。これに対して、「新向日市環境基本計画」に従い、今後施設の新設、改修工事ごとに、総合的に検討してゆくとの答弁がありました。

ツイッター暴言の復興庁高官が被災者支援事業をサボタージュ

6月議会で、「子ども・被災者生活支援法に基づく具体的施策の早期実現を求める意見書」を市民クラブが提案し、全会一致で採択されました。

実は、原発事故と放射能から避難している十数万人の被災者を国の責任で救済するための基本法が昨年6月に成立しました。ところが、その法律に基づく支援を具体的に実施するための基本方針を国はいまだに作っておらず、予算

も付けられず、被災者の支援に全く生かされていないのです。広域避難者は全国各地に避難・移住されており、京都府内にも千人以上の避難者がいます。1年間も店ざらしされていることに、避難者からは「裏切りだ」と悲痛な声が出されています。

実は、この仕事の担当者が、ツイッターで暴言を吐いていた復興庁の水野参事官だったのです。とんでもない奴です。しかし、水野参事官個人の問題だけでなく、原発推進の安倍政権になって、原発推進に支障となる事業は次々と後退しています。原発輸出・再稼働を優先し、被災者放置や、安全軽視の原発推進の政策を許してはなりません。

声

6月の市議会傍聴記 何回傍聴しても腹が立つ

(安野洋子)

何回傍聴しても議会には腹が立つ。

相変わらず傍聴席からは、市長と役所の部長と質問者の顔が見えるだけ。Oさんの質問は1時間。石田川の下水道工事事故関係の弁護士作成報告書を出せと言うこと。市長の答弁は、廃棄したの一点張り。角度を変えて質問してもその押し問答のみ。二人が立ったり座ったりするだけの1時間だった。うしろで部長どのが、ぼけっと退屈そう。傍聴席にいて怒りを感じ、この時間も税金の無駄使いではないかと思つづく思った。

自然 散策

30年ぶりに見た 故郷のホタル

父の法事のため先日帰省し、30数年ぶりにこの時期の故郷で数日を過ごしました。ひょっとしたらと期待して夜を迎え、庭先に出てみると、前を流れる川からポツポツと小さな光が見えました。やっぱりホタルがいたのです。幼い頃とは環境がずいぶん変わってしまったので、もういないのではと思っていたので感激です。

この乙訓でもホタルの棲む地域があるので、乙訓のホタルにも会ってみたいと思います。(涸沢)

街の 話題

イオンモール京都桂川 住民説明会が開催

6月14日、寺戸中学校で大規模小売店舗立地法に基づく説明会が開かれました。イオンモール側の説明で気づいた点は、

- ・店舗面積は、イオンモール京都の1.17倍、五条ハナの2.5倍、イオン洛南の1.7倍、イオン久御山の1.8倍と、京都府内のイオンで最大。
- ・営業時間は、イオンリテールは7時～24時、その他の店舗は9時～23時。
- ・車では171号線南方向や、西方向からの来店者が多いと予測し、周辺交差点の混雑緩和対策をおこなう。

- ・車両の進入はすべて北側道路（府道中山稻荷線）から。南側（向日市内中心部側）から進入しないよう誘導する。

参加した住民から多数の質問や意見が出されていましたが、多かったのは営業時間の長さ、特に深夜まで営業することに対する問題（周辺への騒音、青少年への悪影響など）と、住宅地への大量の車の流入に対する懸念でした。現在進行中の周辺道路の整備が完了した後、車の流れがどのように変わるか、十分チェックが必要だと思います。

市民の意見は、10月7日までに、京都市産業振興局商工部商業振興課に出すことができます。

(お断り) 連載「ポイント解説・乙訓の歴史」は、都合により今回もお休みとします。